

地域包括ケアに関する取組み

西区

<概況>

令和5年3月末現在

【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】 ・西区は、福岡市の西端に位置し、背振山系から玄界灘に広がる。 ・耕地面積は市全体の半分以上を占め、能古島、玄界島、小呂島の3つの島を抱く。 ・地下鉄空港線とJR筑肥線の相互乗り入れにより沿線の市街化が進み、九州大学移転後、九大学研都市駅を中心に新しい市街地が形成され、令和5年度、西都北校区が新設。 【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】 ・高齢化率は7区で3番目に高く、5校区で40%を超えている。 【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】 ・区内9つの事業所ネットワークが全圏域で活動。コロナの影響で活動は縮小されていたが、地域カフェや民生委員研修等のサポート、認知症サポーター養成講座講師など、徐々に再開されつつある。 ・離島においては、医療・介護等の新規参入事業所が少なく、島内で利用できる介護サービスは限定的である。	人口（人）	203,941
	高齢者数（人）	49,986
	高齢化率（%）	24.5
	小学校区数	24
	いきいきセンター圏域数	8

<地域包括ケアに関する現状と課題>

○単身高齢者や認知症高齢者、複合課題を抱える事例が増える中、「虚弱」「認知症」「キーパーソン不在」など、支援を要する高齢者の早期発見・早期支援に取り組むとともに、「ACP」「フレイル予防」「高齢者の虐待防止」等のさらなる周知・啓発が必要である。

○「ACP」については、「福岡市地域包括ケアアクションプラン」の重点テーマに掲げる「生活課題が顕在化する前の早期からの意思表示、意思決定の啓発」として、若い世代を含めた、より幅広い世代を対象とした「自己選択・自己決定を支える環境づくり」に取り組む必要がある。

○担い手不足や住民同士のつながりの希薄化などの地域課題の解決に向け、新たな社会資源等の発掘とともに、市民、地域、企業、NPOなど多様な主体との連携・共働による重層的な「見守り・支え合い」の仕組みづくりをさらに進めていく必要がある。

1 令和5年度の取組みの中で、特徴あるもの

取組内容

上記課題の解決に向け、福岡市地域包括ケアアクションプランにおける「取組みの視点」「重点テーマ」等を踏まえ、分野横断的に各種事業を実施する。

拡充 自己選択・自己決定を支える環境づくり

◆「ACP」市民への周知・啓発

多職種等と共働したイベントの開催（9月）

- ★ミニ講座
- ★終活相談
- ★もしバナゲーム
- ★展示コーナー
- ★体験ブース（エンディングノート作成等）



キャラバン・メイト/
事業所ネットワーク/
社会福祉協議会/
在宅医療地域リーダー会等

◆専門職への周知・啓発

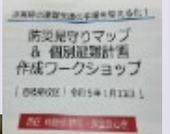
- ・ACP研究会、ケアマネ会等にて研修会を開催

継続 「見守り・支え合い」の仕組みづくり

“オール西区”で取り組む地域包括ケアシステム

◆「超高齢化を支えるわがまちサミット」

- ・校区特性に応じて「防災」「認知症」「見守り」等をテーマに開催
- ・「災害時の要支援者支援」については関係各課と連携し「防災ワークショップ」等を開催。見守りマップや個別避難計画等の作成につなげ、地域における見守り体制の構築を支援



◆「校区福祉のまちづくりプラン」作成支援

- ・「わがまちサミット」等の開催に合わせプランの作成を支援し、校区の取組みを「見える化」



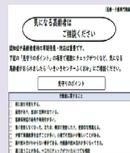
◆事業所ネットワーク支援

- ・交流会の開催等

拡充 虚弱高齢者等の早期発見・早期支援

◆西区版！「見守りポイントシート」活用の強化

- ・「見守りポイントシート」のさらなる周知、啓発
- ・地域における虚弱高齢者への対応等についてヒアリングを実施（公民館、コンビニ等）



継続 健康づくり・介護予防

◆よかトレ実践ステーションの創出、継続支援

- ・薬剤師会等と協力した、よかトレ実践STの創出、介護予防啓発

◆フレイル予防

- ・「フレイル予防教室」の開催やホームページ等による普及、啓発

◆ICTを活用した健康づくり・介護予防事業

- ・離島における健康づくりや、新しい生活様式への対応として、ICTを活用した講座等を実施



2 令和4年度の取組状況

(1) 地域ケア会議の状況

① 個別支援における事例・課題等

- ・事例は、認知症の方が43%、認知症以外の精神疾患（疑いを含む）の方が26%、独居の方が55%、キーパーソン不在の方が29%。
- ・本人だけでなく家族も含め複合的な問題を抱えた事例が増えており、障がい者基幹相談支援センター、西区社協事務所、権利擁護関係機関等の会議参加が増えている。

【個別支援会議】開催回数 58回（うち介護予防型個別支援会議16回）

② 住民同士の助け合い・支えあい活動

住民主体で取り組む支えあいのまちづくり **福重**

- ・校区座談会等を重ね「まちづくりプラン」を作成し全戸配布
- ・「防災ワークショップ」を通じ、見守りマップ・個別避難計画作成
- ・区総合防災訓練ではネットワークを活用した実践訓練を実施

R4年度福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動知事表彰
R4年度西区市民表彰

【まちづくりプラン】 【防災ワークショップ】 【防災訓練】



認知症声かけ訓練 **周船寺**

- ・「災害時要支援者避難訓練」と「認知症サポーター養成講座」を同時開催
- ・R2年度から町別に訓練
- ・町別に実施することでより実践的な取組みとなっている

【6町/参加者68人】



わがまちサミット **周船寺** **元岡**

- ・「支え合い・助け合いの仕組みづくり」の一環として「認知症」を学ぶとともに啓発動画を視聴
- ・アンケート結果では、周船寺校区、元岡校区ともに認知症の理解が「深まった」「やや深まった」が91%

【周船寺/参加者43人】 【元岡/参加者63人】



【高齢者地域支援会議】 会議開催校区数：12校区 延べ回数：20回
開催状況 検討内容：地域の現状・課題等の共有及び課題解決に向けた取組みの検討等

③ 在宅医療・介護連携・多職種連携の推進に向けた取組み

ACPの取組み

- ◆「今から始める私の終活講座」を開催
- ・市民対象に**カードゲーム**を実施。事業所ネットワーク、キャラバン・メイト等が参加



- ◆医師会 「おっしょ医くん」講座（3回）
- ◆ACP研究会 研修会（1回）
- ◆ケアマネ会 事例検討会（7回）

複合課題への取組み

- ◆3相談支援センター連絡会
 - ・相談を担当する3つのセンターで連絡会を開催
 - ・情報共有とともに事例を検討
- ◆8050問題に関するアンケート
 - ・居宅介護支援事業所を巡回し、8050問題に関するアンケートを実施



【圏域連携会議】 開催状況
・開催回数：4回（第3圏域/第4圏域/第5圏域/第8圏域）
・検討内容：事例検討、ネットワークづくりなど

④ 区レベルの取組み

ACP

高齢者はもとより若い世代にも関心をもってもらえるよう「西区版エンディングノート」を作成し、市政だよりやHPへ掲載するとともに、公民館講座等で配布



西区版！

虚弱高齢者等の早期発見・早期支援に向け、西区独自で作成した「見守りポイントシート」を配布（全118箇所）
【地域/金融機関/スーパー/コンビニ/介護医療・専門職/民生委員 など8種】



【区地域包括ケア推進会議】開催状況
区地域包括ケア推進会議：1回
部会：①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会 1回 ③生活支援・介護予防部会 1回
検討結果等：意見交換等を通じ「制度等の周知・広報」「見守り体制の構築/要支援者の早期発見・早期支援」「担い手不足」等の課題を共有。引き続き関係機関等と連携を図り、各施策を講じながら課題解決に向け取り組んでいく。

(2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	内容
在宅医療地域リーダー会議（コア会議）	5回/年 西区医師会主催（在宅医療推進体制づくりにむけた具体策の協議）
多職種連携研修会	3回/年 第1回目Web配信、第2、3回目対面にて開催 第1回：講演テーマ「福岡市の災害リスクと西日本豪雨災害の支援活動と役割」14職種、99名参加 第2回：講演テーマ「福岡市の地域包括ケアシステムの取り組み～過去・現在・未来～」16職種、130名参加 第3回：事例検討「退院支援に難渋した事例～ADL低下した環境調整と患者・家族の思いへの寄り添い～」7職種、64名参加
同一業種による連絡会開催 ①ケアマネ会 ②西区・糸島地区訪問看護ステーション交流会	①ACP研究会としての活動 2回（うち1回は研修会） ②訪問看護ステーション交流会 3回/年 ・ステーション間の連携強化のための研修及び情報共有 ・R4年度は、BCP策定に向けモデル地区として研修会等を実施【県の事業】
居宅介護支援事業所巡回	・R3年度に実施したACPに関するアンケート調査結果の共有及び複合課題「ひきこもり問題」について、現状把握及び課題抽出のため、43か所の居宅介護支援事業所を巡回
事業所ネットワークの活動等	・区内の事業所ネットワーク/9つ ・地域カフェや認知症サポーター養成講座、小学校での福祉事業への協力等、様々な活動が行われている ・活動支援として、交流会の開催や各ネットワーク定例会等への参加により行政情報等の提供を行っている